

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業
IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究

研究報告書（平成 30 年度）

IgG4関連下垂体炎に関する研究

研究協力者 高橋 裕 神戸大学

研究要旨

今回自己免疫性膵炎におけるIgG4関連下垂体炎の頻度と病態を明らかにするために本研究を行なった。

A．研究目的

IgG4関連疾患は多臓器病変を伴うことが多い。IgG4関連下垂体炎は比較的まれとされているがその頻度は不明である。これまで私たちはいわゆる自己免疫性下垂体炎の中でのIgG4関連下垂体炎の頻度、病態を明らかにし、報告してきた。今回自己免疫性膵炎におけるIgG4関連下垂体炎の頻度と病態を明らかにするために本研究を行なった。

B．研究方法

神戸大学附属病院消化器内科でフォロー中の自己免疫性膵炎 27 名を対象にして、IgG4 関連下垂体炎のスクリーニングを行なった。

C．研究結果

その結果、18.5%の症例に下垂体形態異常を認め、1名が典型的なIgG4関連下垂体炎を呈し、4名においてIgG4関連下垂体炎の結果生じたと考えられる empty sella を認めた。

D．考察

これらのことから自己免疫性膵炎におけるIgG4関連下垂体炎の頻度はまれではないこと、無症状であっても合併している可能性を念頭におく必要があることが示唆された。

本研究は神戸大学医学部倫理委員会の承認のもと患者さんの同意を得て行った。

E．結論

自己免疫性膵炎におけるIgG4関連下垂体炎の頻度はこれまで考えられてきたものよりも多い可能

性がある。

F．研究発表

1. 論文発表

1. Bando H, Iguchi G, Fukuoka H, Taniguchi M, Yamamoto M, Matsumoto R, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Kohmura E, Takahashi Y. The prevalence of IgG4-related hypophysitis in 170 consecutive patients with hypopituitarism and/or central diabetes insipidus and review of the literature. *Eur J Endocrinol*. 2013 170:161-72

2. Bando H, Iguchi G, Fukuoka H, Taniguchi M, Kawano S, Saitoh M, Yoshida K, Matsumoto R, Suda K, Nishizawa H, Takahashi M, Morinobu A, Kohmura E, Ogawa W, Takahashi Y. A diagnostic pitfall in IgG4-related hypophysitis: Infiltration of IgG4-positive cells in the pituitary of granulomatosis with polyangiitis. *Pituitary*. 2015 18 722-730.

3. Kanie K, Bando H, Iguchi G, Shiomi H, Masuda A, Fukuoka H, Nishizawa H, Fujita Y, Sakai A, Kobayashi T, Shiomi Y, Yoshida K, Matsumoto R, Suda K, Kodama Y, Ogawa W, Takahashi Y IgG4-related hypophysitis in patients with autoimmune pancreatitis. *Pituitary*. in press

2. 学会発表なし

G．知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし